



ボランティアとともにサービス利用者を支えたいとお考えの方へ

～ボランティア募集相談に際してご留意いただきたいこと～

1. 「なぜ、ボランティアなのか」を、ご本人やご家族と相談してください。

ボランティアは、「なんか気になる」「ほっとけない」ということに対して、自分の特技や好きなこと、空いている時間を活かして役に立ちたい、という思いを持った人たちです。ボランティアは決して公的なサービスや制度の下請けや安価な労働力ではないため、大阪ボランティア協会では、「なぜそこをボランティアとしてやる意味があるのか」ということを、ボランティアに伝え、納得してもらうことを大切にしています。ご相談いただく前に、ボランティアを依頼する意味をご本人とも確認していただければと思います。

2. 身体介助を伴う外出支援、在宅での見守りなどを希望される際に

普段、ご家族がされていることでも、ボランティアが同じようにできるとは限りません。急な体調急変や災害時など緊急事態の対応などについても考慮し、依頼するかどうかをご検討いただきますようお願いいたします。また、希望される場合は、ボランティアを必要とされる方のことや、具体的にどのようなサポートが必要かをできるだけ詳しく教えてください。

3. コーディネーターの訪問の際の同行について

ご相談受付後、実際にご自宅にボランティアコーディネーターが訪問する際には、可能な限りご同席をお願いします。

※必ずしもボランティアが見つかるとは限りません。専門的な技術を要したり、回数が多いなど、負担が大きいものは、ボランティアで対応できないこともあります。ご了承ください。

4. 活動が始まってからのフォローについて

ボランティアが見つかり、活動を開始したあとも、お互いのよりよい関係づくりのため、サポートをお願いします。特に、自宅で個別対応するボランティア活動については、ボランティアも安心して活動できるようなフォローが必要です。大阪ボランティア協会のコーディネーターとの情報共有などもご協力いただきますよう、お願いいたします。